

2-9. 消火活動【防火部】

組 関 係		時 刻	本 部 関 係	
担当	行動内容		担当	行動内容
全員	＝先ず自身と家族の安全確認・安全確保＝ 1. 自宅内の火災発生有無確認(ガス・電気の遮断) 2. 家族に対する安全行動の指示(自宅待機か一時避難か)	震災発生  1時間程度	全員	1. 左記同様 2. 左記同様
係員	3. 各班の火災発生状況を確認、係長に報告する。 出火ありの場合、初期消火開始		部長 及び 副部長	3. 責任者よりの報告を受け火災発生状況を地図に記す 4. 責任者よりの報告を受け消火活動と被災状況を会長に報告する 5. 他の部との調整及び支援が必要な場合は、会長に協議を要請する 6. 会長から新たな活動指示を受けたら、責任者に伝達指示する
係長	4. 担当区域内の火災発生状況を確認し責任者に報告する 【出火あり】 ① 赤箱設置場所に集合し消火活動の実施 (消火栓の取り扱いを係員に指示する) ② 近隣住民の協力を得て火元周辺の延焼防止活動の実施 ③ 地区消防団の到着をもってその指示に従い活動する。 【出火なし】 ① 担当区域内の住民の避難所への誘導を援助。			
責任者	5. 火災発生状況を防火部長に報告する。 6. 地区消防団の到着を確認し係長に消火活動の交替を指示。 7. 再度火災の鎮火を確認するよう係長に指示する。	60分 ～ 120分		
係員	8. 班内を2回/日巡回し、出火有無を確認する。 出火ありの場合、初期消火開始と共に、係長に報告する。 停電後の通電開始直後は特に警戒し、巡回する。	毎日2回		